

「見逃さない」「認める」「見つめ続ける」

校長 清水 康男

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。

新 1 年生 111 名を迎え、714 名の子どもたちが入学と進級の喜びを胸に、大きな夢や目標の実現のために、決意も新たに平成 23 年度を歩み始めました。笑顔いっぱい、勉強も、運動も、そして、遊びも楽しむ子どもたち。今年度も、そんな姿がいつも見られる福岡小学校でありたいと思います。

子どもたちの“顔を、目を、そして声を輝かせる”ために、一人一人を「よく見る」ことを重点として、全職員が心一つにして、教育活動の充実と心休まる楽しい居場所としての学校づくりに取り組んでいきます。家庭や地域の中でも、同じ視点でお子様の育成にご理解をいただき、皆様の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、一口に、子どもを「よく見る」と言いましたが、そんなに簡単なことではありません。私が考えているのは、三つです。

一つ目は、「見逃さない」。

「うちの子は、いつもこうだから安心だ」と、決めてかかっているはいないでしょうか。子どもは、いつもよい行いだけをするとはいりません。はじめは好ましい状態であっても、終わりは…ということもあります。また、好ましくない行いがあったので、十分注意したからと言っても、安心とは限りません。子どもたちの今の現実を見逃さないことが、大切なのです。



二つ目は、「認める」。

「このことぐらいのことは、できて当たり前」なんて、子どもの前で言うことはありませんか。がんばって最後まで続けることができたなら、あるいは、責任をもって仕事ができたら、大いに誉めてあげてください。「当たり前」は、私たち大人にとって当たり前のことなのです。認める・誉める・勇気づける・励ます言葉は、惜しみなく与えてあげるべきだと思います。

三つ目は、「見つめ続ける」。

見逃さず認めてあげるためには、子どもをよく見ていなければできません。ある時点だけではなく、ずっと見つめ続けることが大切なのです。例えば、仕事を頼んだ時、その仕事の取りかかりから仕上がりがまでがどんな様子だったのか、夕食の時は元気がなかったけれど、朝食の時はどうだったのかなど、いろいろな場面でその子どもを見つめ続けていくということなのです。

このようにして、子どもを見た時、もし、気になるようなことや心配になるようなことがあったら、必ず、学級担任等と連絡を取り合い、相談してください。学校は、いつでも、皆様の来校を歓迎し、連携をさらに深めていきたいと考えています。

これからの社会を生き抜いていくために必要な子どもたちの力とは、基礎的・基本的な知識及び技能や思考力・判断力・表現力、そして豊かな人間性、健康・体力等であると考えます。その育成のためには、子どもたちが進んで豊かな「体験」や「学び合い」ができるように、学校・家庭・地域が十分に連携し、バランスよく教育にあたることが大切です。このことを本校の教育の基本とし、子ども一人一人に応じた指導に努めてまいります。

「入学式」 ～1年生～

4月7日、福岡小学校にかわいい1年生、111名が入学しました。

ぴかぴかのランドセルを背負って、ドキドキワクワクしながら教室に入り、式では名前を呼ばれると、元気よく「はい。」と返事をして立つことができました。6年生からのお祝いの言葉では、しっかりとお兄さんお姉さんを見て話を聞きました。

式が終わると、「ドキドキしたよ」「べんきょうするのがたのしみだな」と話していました。これからの小学校生活に胸をふくらます1年生でした。



当面の予定お知らせとお願い

4月

22 (木) ~27日 (火) 家庭訪問

5月

15 (土) 運動会 (雨天順延: 16 (日) ~)

17 (月) 繰替休業日

20 (木) 避難訓練・BFC 編成式

新年度になり、新しい登校班での通学がスタートしました。上級生が下級生の世話をしながら登校する姿はほほえましいものです。

さて、新学期や連休中は、1年間の中でも交通事故が多い時期です。そして、そのほとんどが「飛び出し」が原因です。本校でも、子どもたちがバスの前後を横断し、危険なことがよくあります。ご家庭でも交通ルールについて再確認していただき、「自分の命は自分で守る」力が身に付くようお願いします。